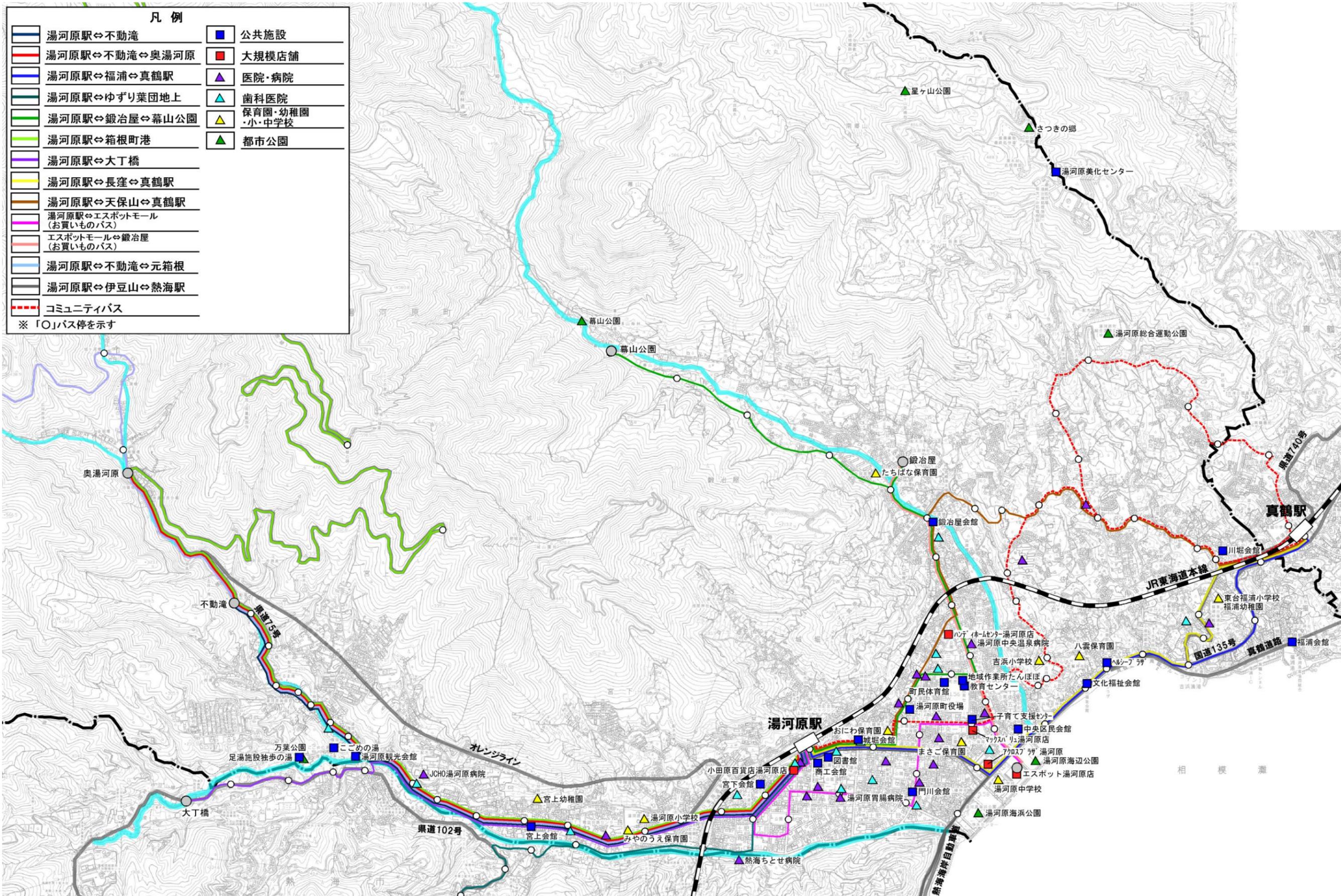


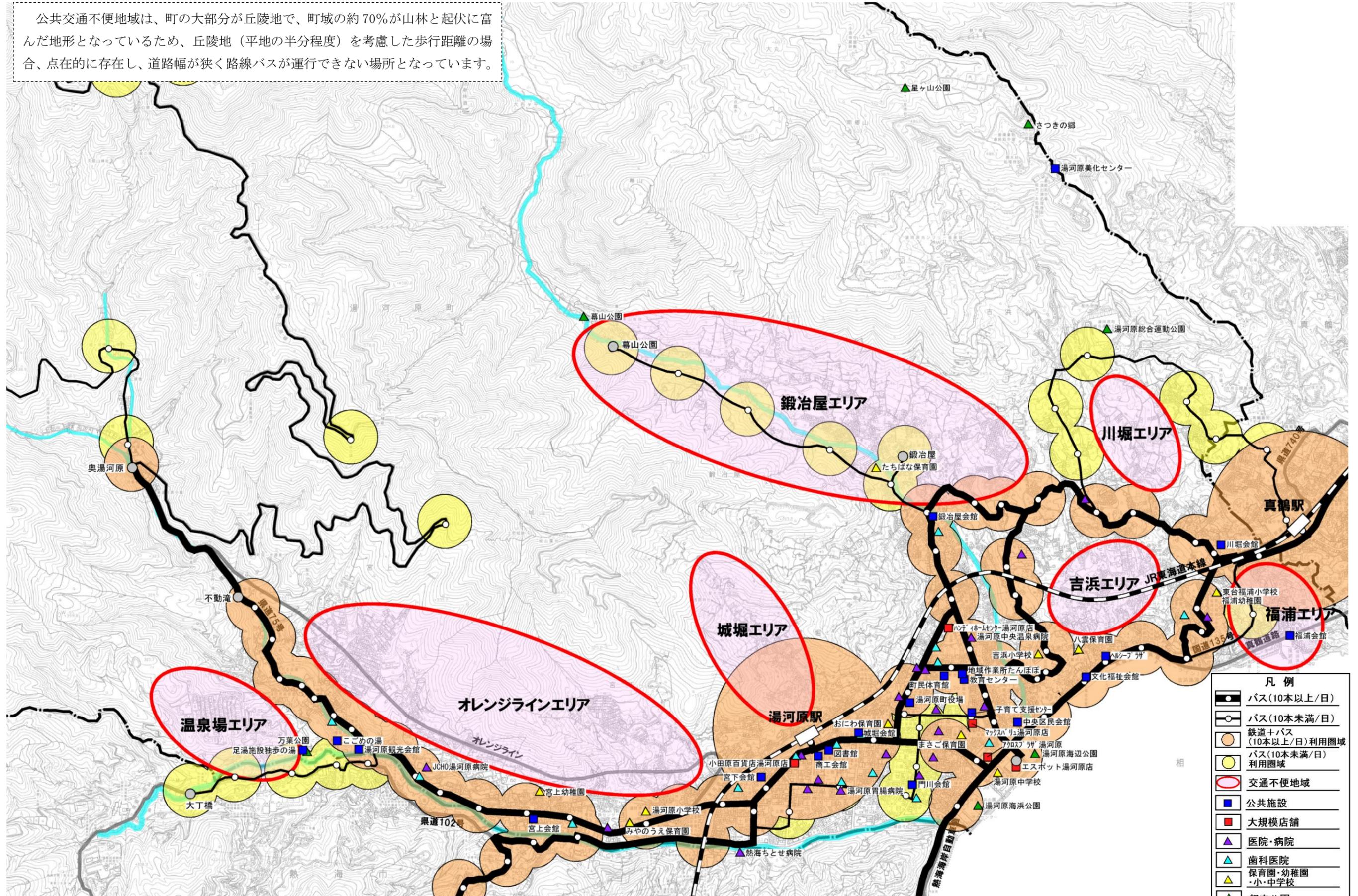
第1回意見交換会 配布資料

1 湯河原町における公共交通の現状について



■公共交通不便地域（鉄道駅より半径500m以遠、バス停半径150m以遠）

公共交通不便地域は、町の大部分が丘陵地で、町域の約70%が山林と起伏に富んだ地形となっているため、丘陵地（平地の半分程度）を考慮した歩行距離の場合、点的に存在し、道路幅が狭く路線バスが運行できない場所となっています。

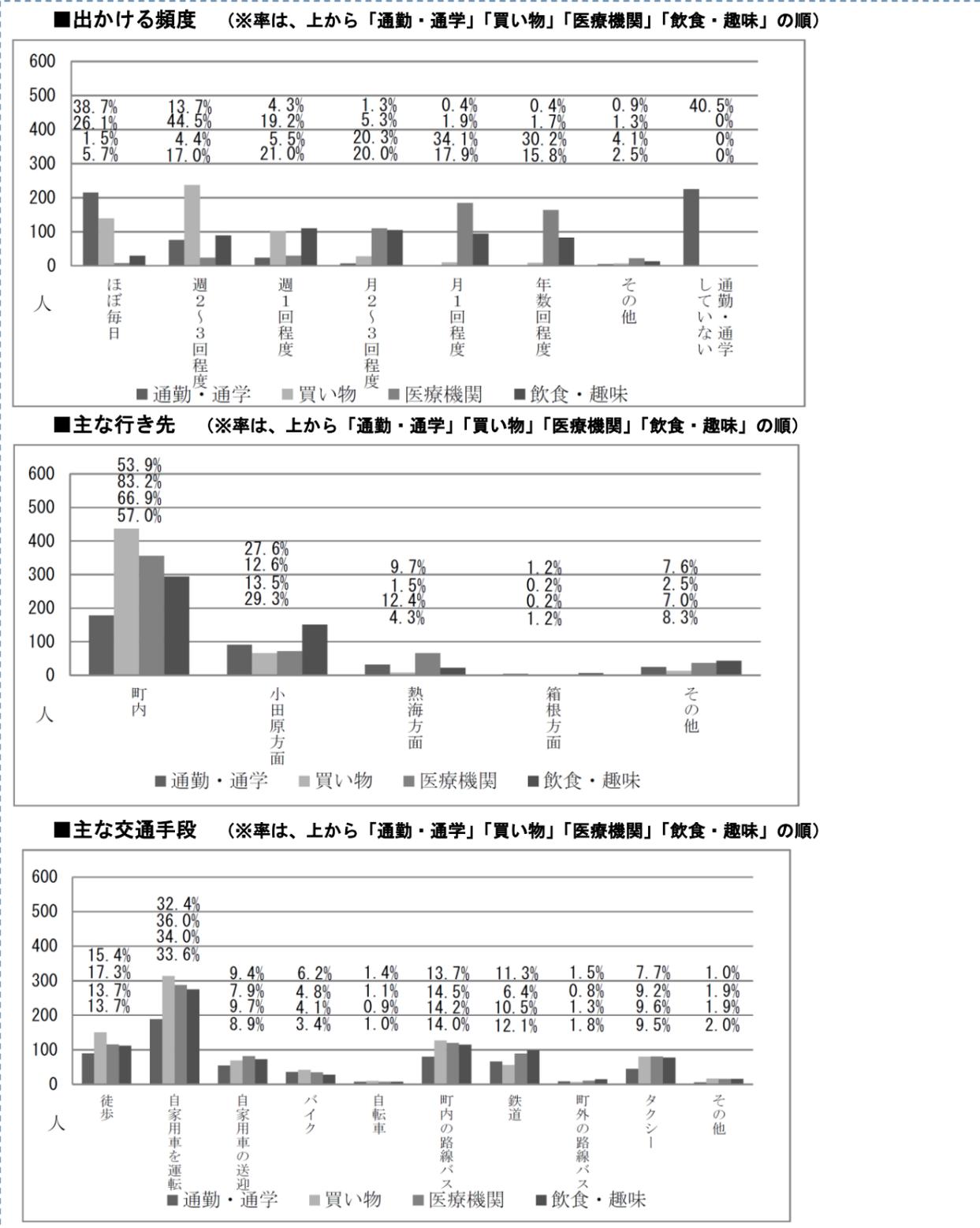


凡例	
	バス(10本以上/日)
	バス(10本未満/日)
	鉄道+バス (10本以上/日)利用圏域
	バス(10本未満/日) 利用圏域
	交通不便地域
	公共施設
	大規模店舗
	医院・病院
	歯科医院
	保育園・幼稚園 ・小・中学校
	都市公園

2 公共交通に関するアンケート調査結果

路線バス等が運行していない地域（約 2,200 世帯のうち、1,000 世帯を無作為抽出）を対象に、日常での移動交通手段や今後の公共交通に関する考えなどを把握するため、アンケート調査を行った。（調査期間：平成 27 年 11 月 6 日（金）～11 月 20 日（金）、（回答状況：573 世帯、回収率 57.3%）

(1) 普段の外出実態



(2) 仮に自宅近くに路線バスが運行した場合の利用意向

仮に自宅近くに路線バスが運行した場合の利用場面は、「買い物」、「通院・治療等」でのニーズが多い。利用時間帯は、午前8時から12時までのニーズが多く、午後はどの時間帯も平均したニーズとなっている。

1週間の利用頻度は、「往復1回～3回程度利用」割合が多い。

自宅から湯河原駅までの片道料金の支払い意向は、200円以下のニーズが多い。

